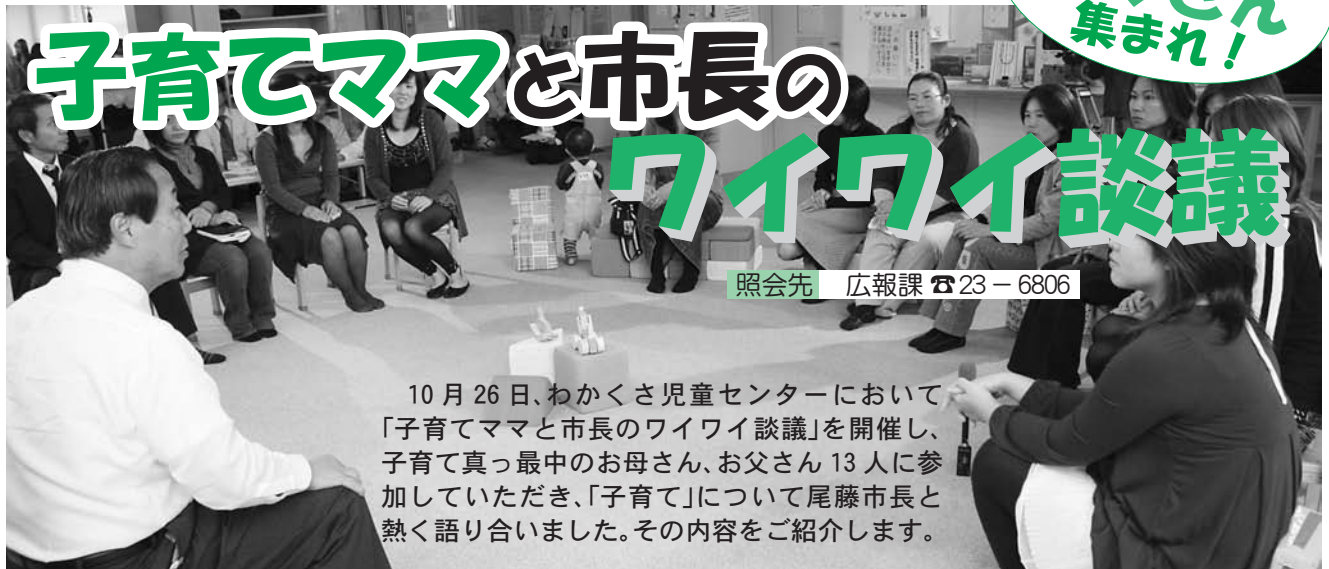




照会先 広報課 ☎ 23-6806

10月26日、わかさ児童センターにおいて「子育てママと市長のワイワイ談議」を開催し、子育て真っ最中のお母さん、お父さん13人に参加していただき、「子育て」について尾藤市長と熱く語り合いました。その内容をご紹介します。

◆仕事と子育ての両立

市長 子育て支援について具体的にお母さんがどう思っているか声を聞きたいと思います。「もし、私が市長ならこんなことをやるのに」ということをぜひ聞かせてください。

Aさん 私は仕事をしながら6歳の子の育てをしています。子どもが小さいので風邪を引いたりすると会社を休まなければなりません。仕事を探していても、託児所がある職場なんてありません。子育てしながら仕事ができる環境をもっと整えてほしいです。

Bさん 少なくとも子どもが病気のときに預かってくれる施設が充実していれば、会社にも迷惑がけることも減り、もっと外に働きに出ることができると思います。

Cさん 以前テレビで見たんですが、ある民間企業では幼稚園と提携して従業員の子どもを預かってもらうという例を紹介していました。助成などは難しいのかもしれませんが、気軽に利用できる託児サービスがあるということです。

Dさん 私は託児所がある会社で働いていて費用は会社が負担してくれまます。ファミリー・サポート・センターに預けると、うちは子ども3人なので料金も3人分となり時給より

も高い金額で預けなければならず、とても大変です。会社内託児所は企業にも負担が大きいので市で何らかのサポートがあればいいと思います。

Eさん 去年、小学校に入学した子どもを学童保育に入れて就職しようと思いましたが、施設が定員いっぱいまで待機してくださいと言われまして。他の保護者と一緒に市役所や学校に相談したりして、大変な苦勞の末、ようやく新しい学童保育の場所を確保することができたのですが、私たちが本当に困っている時になかなか意見を聞いてもらえず辛い経験をしました。

市長 誠意が足らず寂しい思いをされ、申し訳ありません。職員目線でものを考えていると事務的な話しかできないことが多いかもしれません。今後はそういうことのないよう職員にも伝えます。

◆障がい児への対応

Fさん 障がい児を抱える母親です。障がいは軽度でしたが保育園に入るのも大変でした。ある時アレルギー症状の発作を起こして保育園から「散歩は禁止ですよ」と言われました。子どもは友達とも遊べず、登園拒否になってしまい、転園も考え市役所に相談しましたが、なかなか対応をしてくれませんでした。新たに保健センターを移転されると聞きま

したが、障がい児であっても受け入れてもらえるような施設と人員配置をぜひお願いしたいと思います。

Gさん 私の子も障がいがあり、市内でマンツーマンで対応してくれる保育園を探しましたが見つけれませんでしたので、仕方なく他市の保育園に入れていました。関市養護訓練センターも利用していますが、岐阜市内の診療所にもリハビリに通っています。作業療法や理学療法などマンツーマンで訓練をするような施設が市内にできたらいいと思います。

市長 保健センターを移転する計画のなかで、その一角に障がい児も対応できる施設を入れてほしいということですね。そのためにも他市の施設などもよく研究します。

Hさん 保育士をやっていたのでわかりますが、障がいのある子のお世話は本当に大変で、保育士も一生懸命だと思っています。障がいの基準だけで決めるのではなく、実際にその子の様子を目で見てどうやってサポートするかを判断できるシステムがあれば、現場の保育士も助かると思います。

◆施設・環境の整備

Iさん 今、私は市外に住んでいますが、その町はすごく公園が多いんです。今度、関市へ引っ越しますが、

この地域にはグラウンドとゲートボール場しかありません。遊具とかなくても安心して遊ばせられる公園があればありがたいです。例えばゲートボール場の横に作れば、地域の高齢者とも触れあえて学ぶことも多いかと思っています。

Jさん 児童館は市街地に集中しててなかなか行けません。周辺地域にも児童館みたいな場所を作っていただきたいと思います。また、どの施設も月曜日が休館なので施設ごとに曜日を交えて休館していただきたいです。

Bさん 児童館にお弁当をもって出掛けたりしますが、館内は飲食できないので寒い季節には困ります。

Dさん わかくさ・プラザでお弁当を食べようとしたが、受験シーズンになると談話室などは勉強の場に変わってしまい、小さい子を連れてなかなか利用できません。受験生の使う場所と親子でご飯を食べられる場所を分けることはできませんか。

市長 空いている会議室などを有効に使えないものか、検討していきます。

Kさん 急な用事で一時保育を利用したいと電話しても、働いているお母さんが優先ですから遠慮くださいと言われてしまいました。一時保育ももっと簡単に預けられるようにならないのでしょうか。

◆子どもの医療

しさん 夜遅くに子どもの具合が悪くなり心配なので救命救急センターを利用しました。ところが研修医の方が診てくださり、「私では判断しかねるので他の先生に診ていただきます」と、今度は別の先生に診ていただき、そしてここでも判断しかねるので今度は岐阜市の小児専門病院を勧められました。夜中でしたが車で岐阜市内まで行き、ようやく「おたふく風邪」と診断されました。救急で来ているいと走り回ったんですが、子どもも辛かったと思います。小さな子どもを抱えて不安なお母さんのためにも、夜間の救急体制にもう少し力をいれていただきたいと思っています。



関市はまだいいほうだといえます。また今年の4月から中濃厚生病院内に「初期夜間急病診療



支援室」を設置し、夜8時から10時まで子どもを診てもらえる体制をとっています。ここでも手に負えないときは救命救急センター、それでもだめなら緊急時に子どもを診てくれる専門病院に搬送するといった連携をとっています。

お医者さんがこんな過酷な勤務ではもういやだとやめてしまったら、病院も診療所も破綻し、地域の医療は崩壊です。ものすごい額のお金を提示しても医者の方なり手がないのが現状なんです。そういう状況を考えると、今の医療というのは本当に危機的状況なんだと強く感じます。

◆お母さんの学びの場

Fさん 提案ですが、私も看護師の経験があり、こうした厳しい現状の中では親が知識を付けることが重要だと思います。初めて子どもを産んだ女性は本当に何も分からず手探りの状態で子育てに奮闘してるので、不安を抱えるのは当たり前だと思います。そのために女性を教育してくれる場、子育てについて学べる場がたくさんあれば、お母さんの苦労も減ると思うんです。また子育てについて相談できる場も確保していただきたいですね。

市長 昔はおじいちゃん、おばあちゃんと暮らし、子育ての先輩がごく身近

にいましたが、残念なことに今のお母さんは知識や情報もなかなか入ってることがなく、かわいそうですよ。子育てするには本当にいろいろな苦労があるんだと実感します。将来は、子育て応援ボランティアのおばあちゃんを募って、行政の足りないところをご協力いただいても思っています。

◆子どもの医療費負担

Mさん 他の市町村では6年生まで医療費の自己負担がないところもあると聞きますが、なぜ関市は小学校3年生までなんですか。

市長 できることなら手厚く皆さん無料にしたいものです。ただ私の考えではまず最低限、小児科の先生が確保されて関市の医療体制が整ってから医療費の検討をしたいと思っています。元気で働いて頑張れるうちは医療費を払っていただき、その代わり元気で頑張っているような環境を作るのが私たち行政の責任だと思っています。

市長 今日は貴重なご意見をお聞かせいただきありがとうございます。今日のご意見をこれから大いに参考にさせていただきます。将来の関市の子育て支援のために取り組んでいきたいと思っています。働きやすい、住みやすい、女性にとっていいまちを作っていかなければ、本当の子育て支援とはいえないと思います。今日はありがとうございました。

ご案内

「子育てママと市長のワイワイ談話」の様子は市ホームページの広報番組コーナーで見ることができます。ぜひご覧ください。

※紙面の都合上、皆さんの意見をすべて掲載できませんでしたが、手直ししました。ご了承ください。ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。